

# 卒業後もずっと福島市で。 ずっと福島市応援プロジェクト

市内3大学の学生が、市内の企業や文化観光施設のフィールドワークを通して福島市の魅力を探求し、卒業後の市内への定住・定着につなげることを目的にしたプロジェクトです。9月27日の報告会では学生たちが、訪問先企業の方々と市長にフィールドワークの報告と提案を行いました。 ■問/定住交流課 ☎525-3739



▲報告会(コラッセふくしま)

## これまでの活動紹介

### 企業訪問

◇(株)エス・シー・シー  
タウン誌編集部による  
取材方法レクチャー

◇ジーエルサイエンス(株)  
工場内見学  
若手社員との交流

◇(株)東邦銀行  
営業店・貸金庫見学  
キッズらんど(託児所)見学

◇イービーエム(株)  
ふくしま製造開発センター  
FIST見学(心臓外科手術シ  
ミュレーター体験)

◇福島民友新聞社  
本社見学  
若手社員との交流



▲ジーエルサイエンス(株)で世界レベルの主力製品を見学



▲イービーエム(株)で医療現場を支える最先端の技術を体験

### 市内フィールドワーク

◇祭屋湯左衛門  
施設見学

◇飯坂温泉街  
旧堀切邸など施設見学

◇みちのく観光果樹園  
果樹農家の講話・モモ狩り

◇工房おりをり  
機織り体験



▲機織り体験



## 参加学生からの提案

福島市の魅力を体験・継承する学生団体を設立

本プロジェクトのように、学生が自ら福島市の観光や文化、企業に触れて、継続的に魅力発信や交流をする団体を設立してみたいです！

佐藤 翔さん  
(福島学院大)



学生団体設立

福島市の魅力体験

次世代に継承

- ・企業訪問
- ・観光・文化体験

- ・学生と企業の交流の場を継続的に開催
- ・イベントの開催
- ・地元就職、若者の定住

### 企業の方からアドバイス



学生団体設立後は目標を設定し自らに高いハードルを課して緊張感を持って運営してみよう。福島の名誉バリューを最大限生かしてカッコいい団体を目指してください。

## Voice 参加学生の声

Q：印象に残った訪問先は？

A：イービーエム(株)様です。福島から世界に通用する技術を発信し、福島の復興に貢献していることに驚きました。福島市のすごい企業をもっと知りたいです！  
(桜の聖母短大・齋藤 遥菜さん)

Q：企業の方々と話した感想は？

A：自分たち学生の武器は若さと行動力だと教わりました。また、企業の方々は私たちの若い力にすごく期待してくれていることが分かり、その期待に応えられるように成長したいと感じました。  
(福島学院大・小方 佑希さん)

Q：この経験を今後の活動にどう生かしたいですか？

A：将来起業を考えていましたが、自分のアイデアが通用するか不安でした。今回「失敗を恐れずとにかくやってみること」とアドバイスをいただき勇気をもらいました。  
(福島大・伏見 彩礼さん)



▲伏見さん(左)、齋藤さん(中)、小方さん(右)